

2023年3月期第1四半期 決算補足資料

東証プライム 4249

森六ホールディングス株式会社

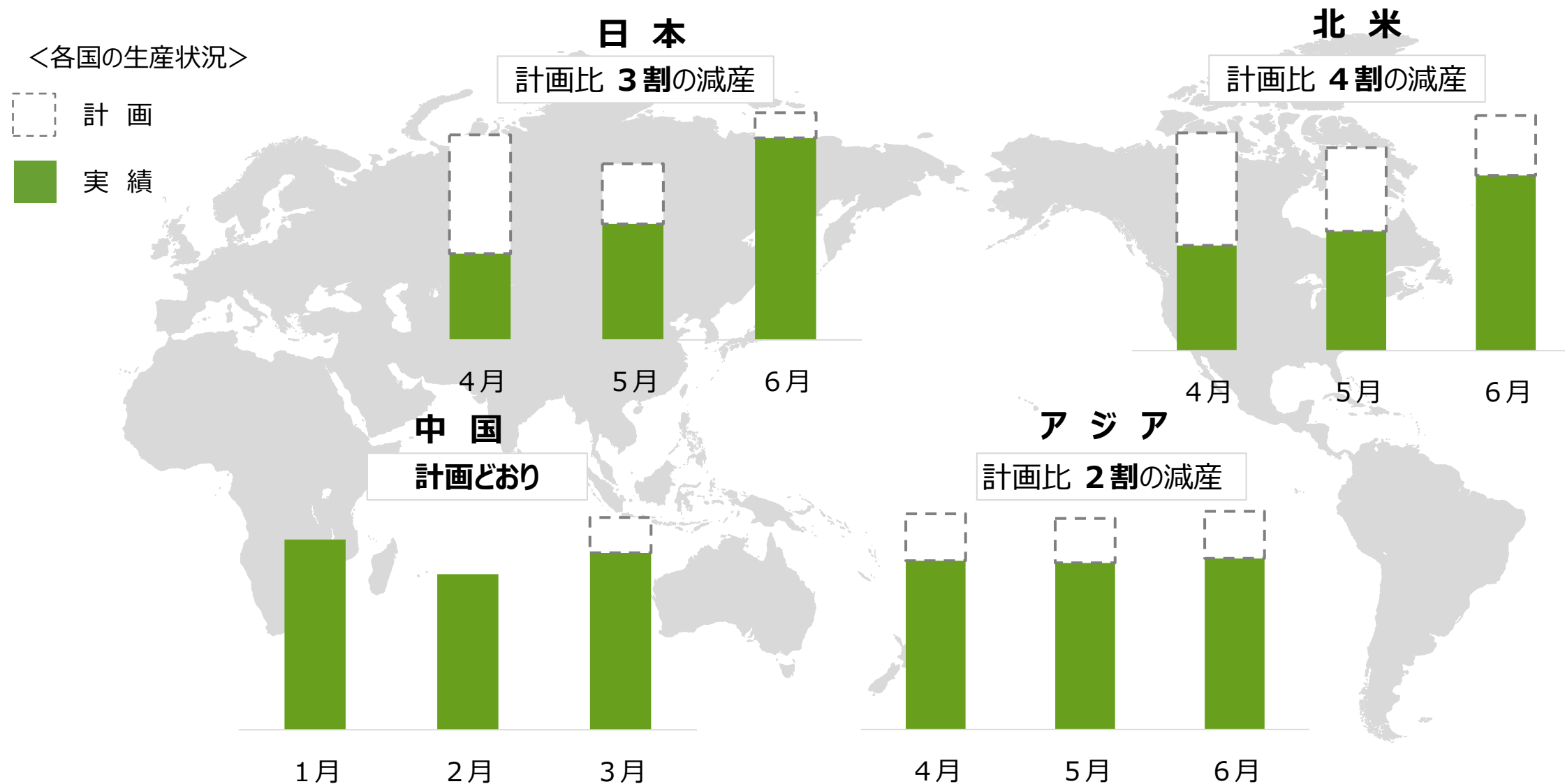
2022年8月4日



1. 2023年3月期第1四半期 決算

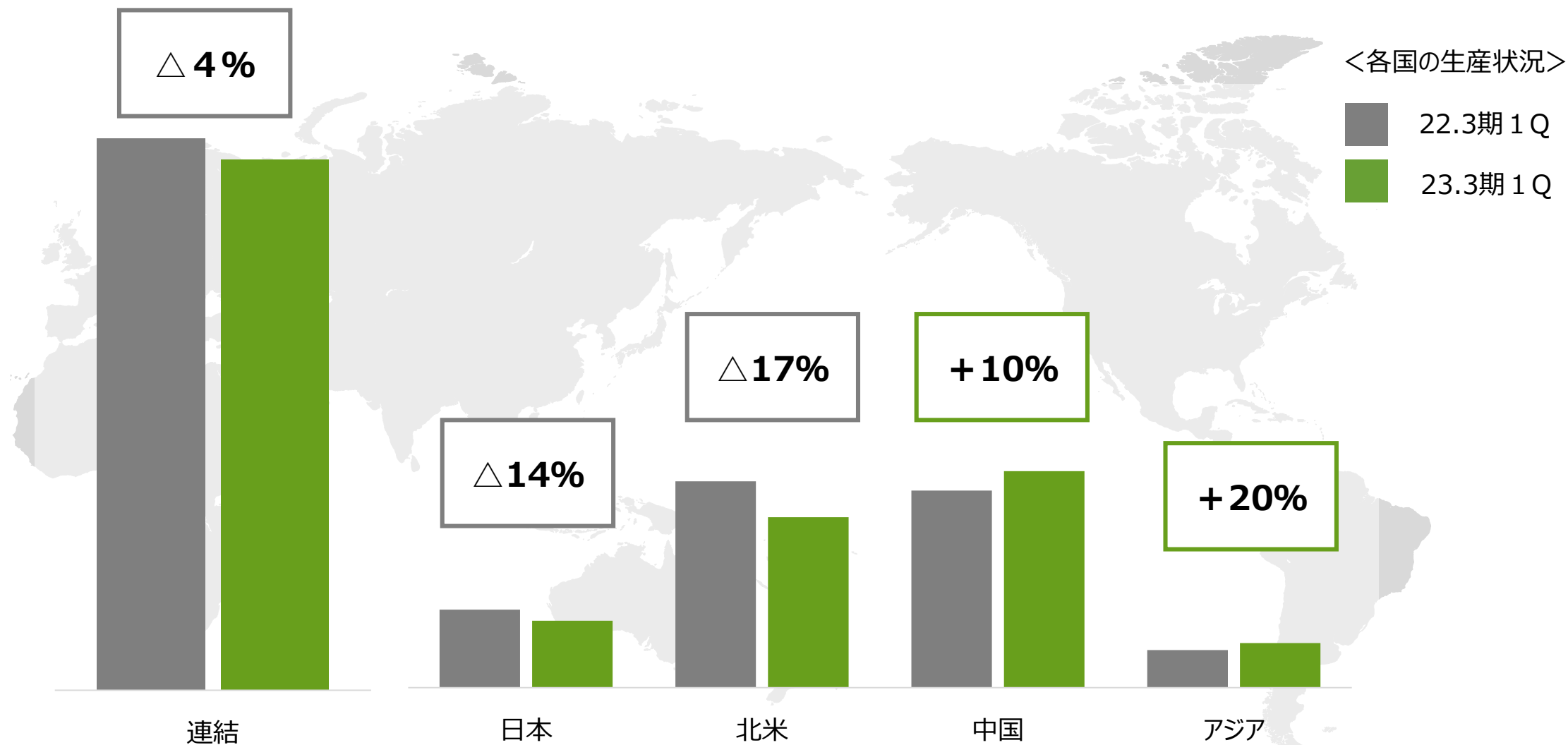
2023年3月期第1四半期 事業環境（対計画比）

第1四半期は、日本および北米を中心に主要顧客の生産調整が発生



2023年3月期第1四半期 事業環境（対前年同期比）

前年同期比では、中国、アジアで台数増。一方、日本と北米での台数は減少



2023年3月期第1四半期 連結業績

売上高 : 樹脂加工製品事業では顧客の生産調整で厳しい状況が続くも、ケミカル事業が堅調
円安の影響もあり増収

営業利益 : 効率化によるコスト削減を進めるも、北米の減産による業績悪化等により減益

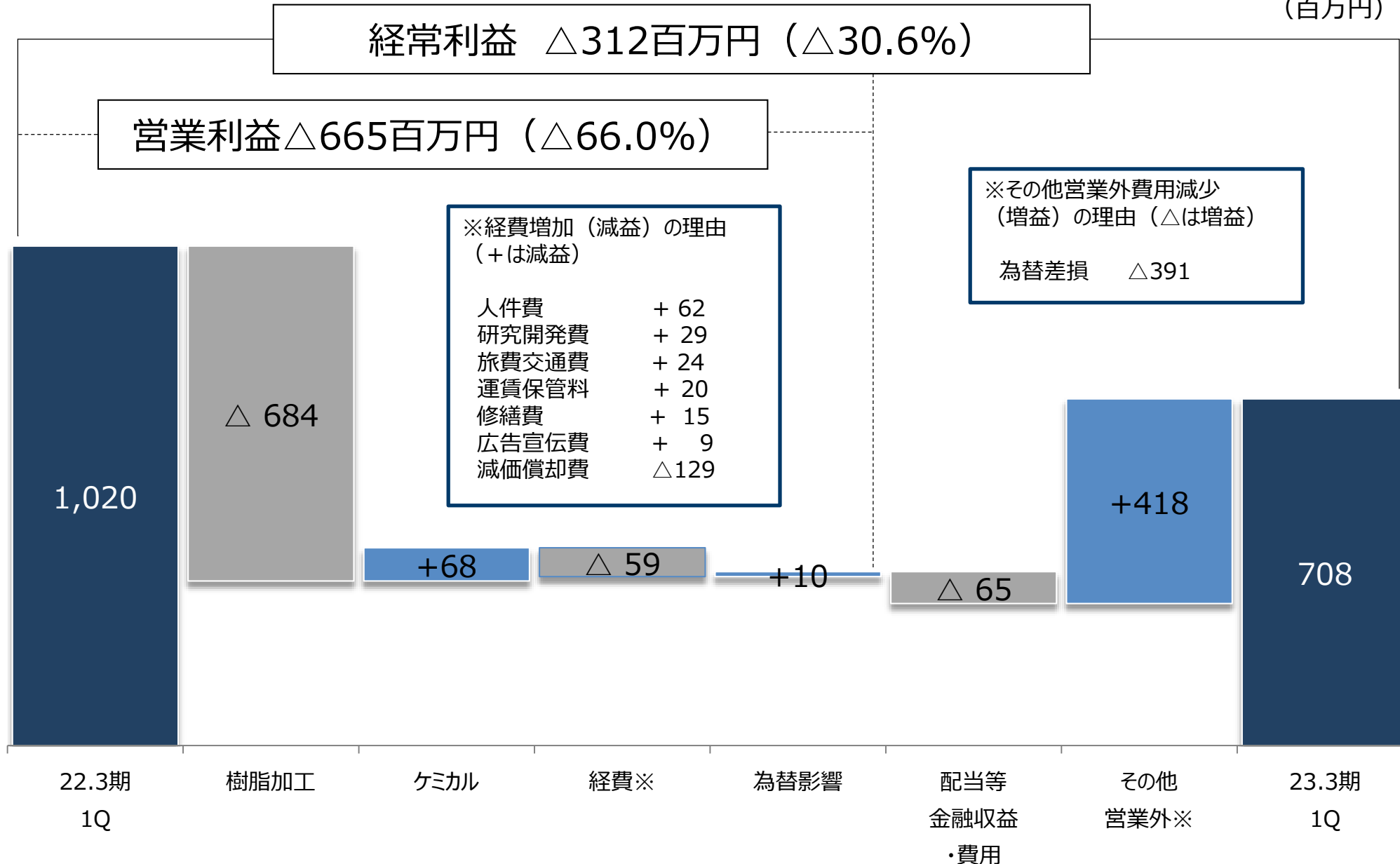
当期利益 : 為替差益があったものの、法人税増の影響で、△0.2億円の赤字

(億円)

	22.3期 1Q	23.3期		
		1Q	増減額	増減率
売上高	327	340	12	3.9%
営業利益	10	3	△ 6	△66.0%
営業利益率	3.1%	1.0%	-	-
経常利益	10	7	△ 3	△30.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は四半期純損失	3	△ 0.2	△ 4	-
EPS (円)	23.03円	△1.46円	△ 24.49	-
為替 (USドル)	109.5円	129.7円	20.2	18.5%
(中国元)	16.4円	18.3円	1.9	11.8%
ナフサ価格 (円/kl)	47,700円	84,000円	36,300	76.1%

経常利益・営業利益 増減分析

(百万円)



2023年3月期第1四半期 セグメント別業績

樹脂加工製品事業は、暦年決算である中国の1Q生産台数が計画通り推移し増収増益。一方、他拠点では、半導体不足や上海ロックダウンの生産調整が影響し、特に生産変動の大きい北米で収益が悪化
ケミカル事業は、化学品の需要が好調で、増収効果等により、利益は堅調に推移

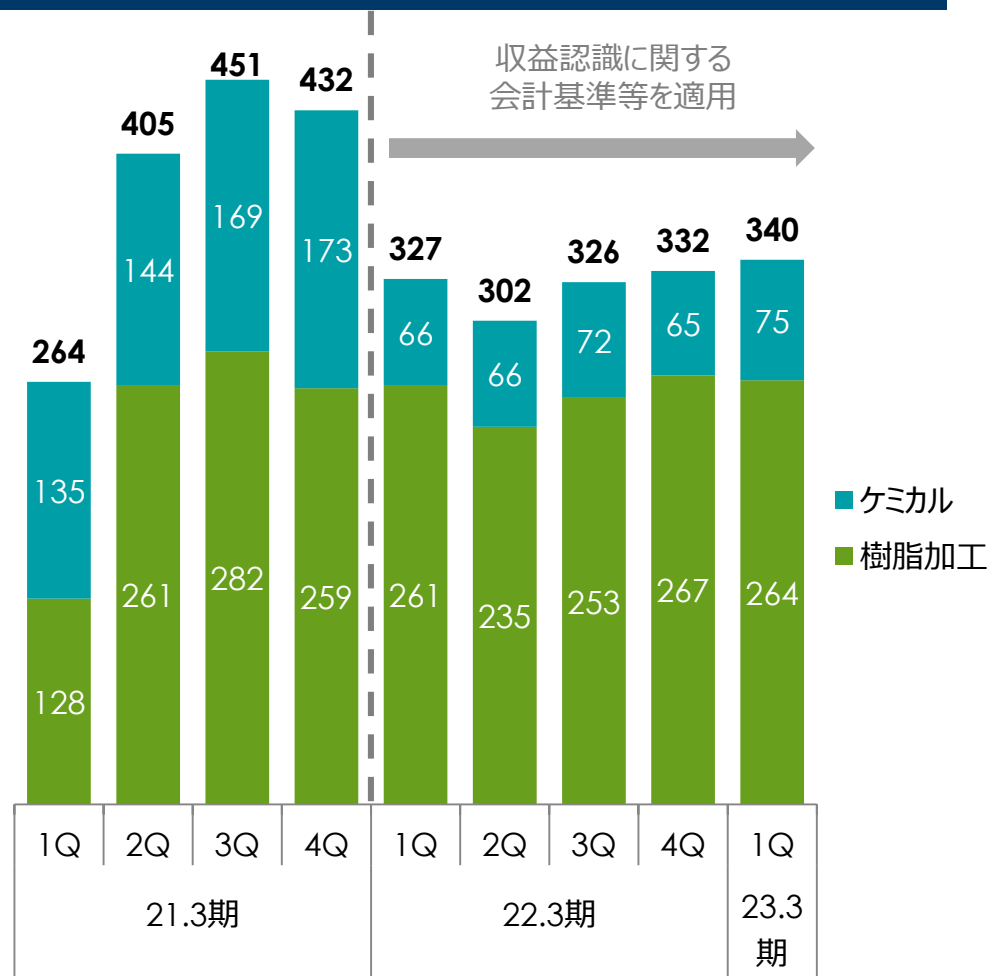
(億円)

	22.3期 1Q	23.3期		
		1Q	増減額	増減率
売上高	327	340	12	3.9%
樹脂加工製品事業	261	264	3	1.2%
ケミカル事業	66	75	9	14.5%
営業利益又は営業損失	10	3	△ 6	△66.0%
樹脂加工製品事業	5	△ 1	△ 6	-
ケミカル事業	5	5	0	5.0%
営業利益率(%)	3.1%	1.0%	-	-
樹脂加工製品事業	2.1%	△0.5%	-	-
ケミカル事業	7.8%	7.1%	-	-

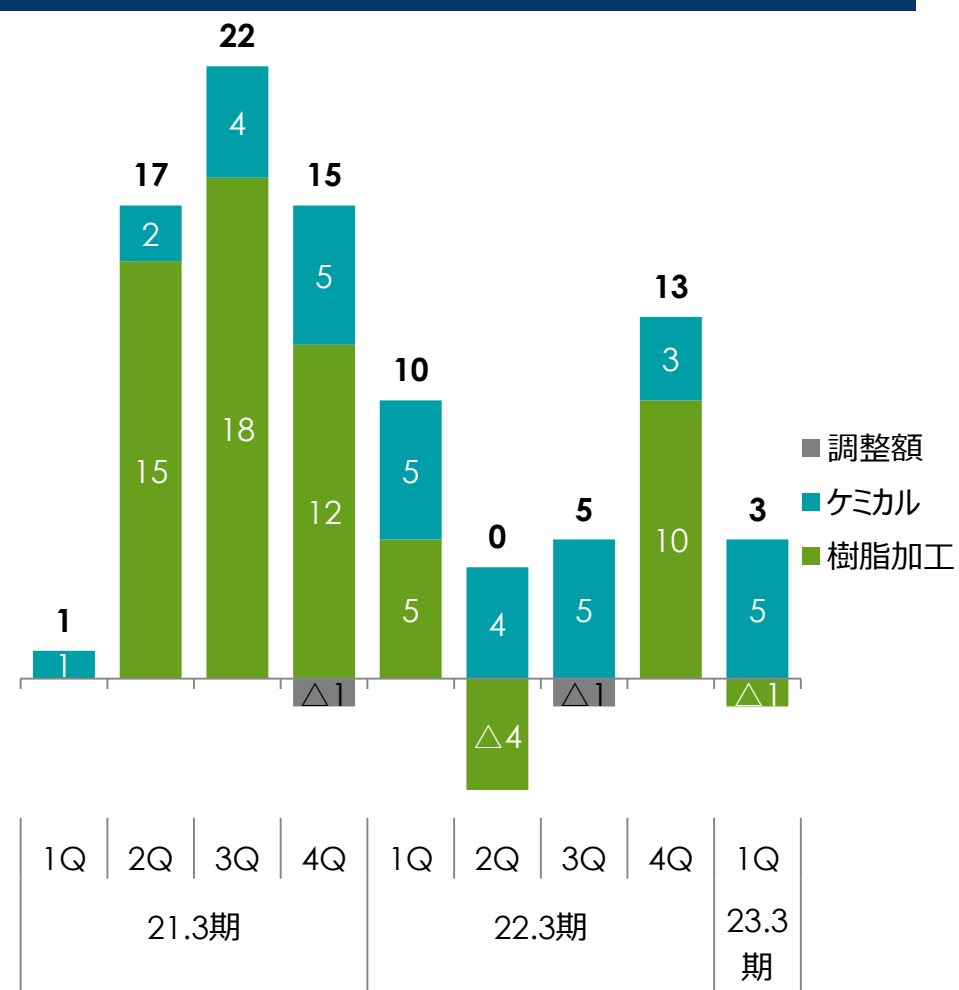
セグメント別・四半期推移

主要顧客の減産により樹脂加工製品事業が赤字も、化学品需要が堅調なケミカル事業によりカバー

セグメント別・四半期売上高（億円）

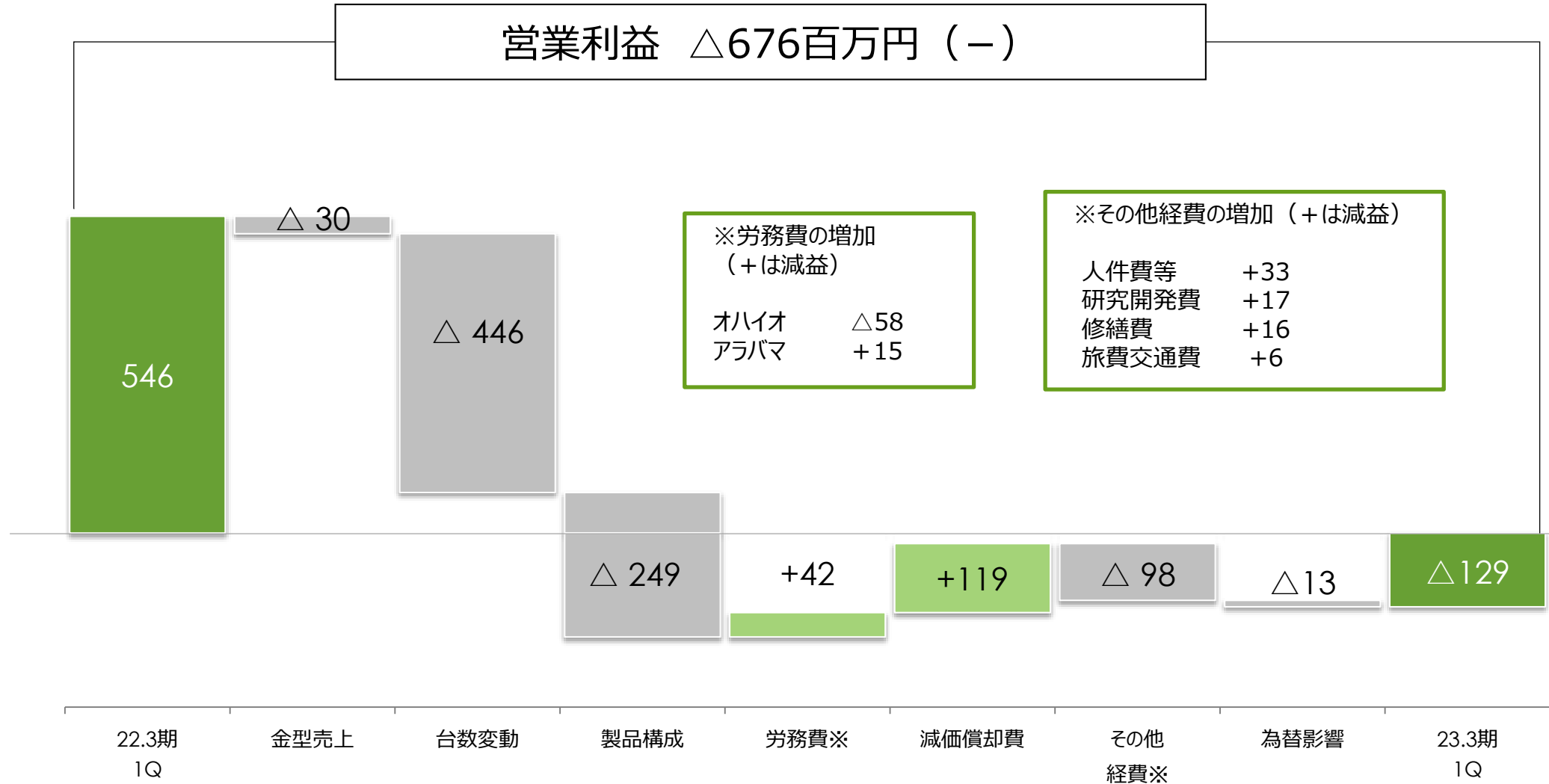


セグメント別・四半期営業利益（億円）

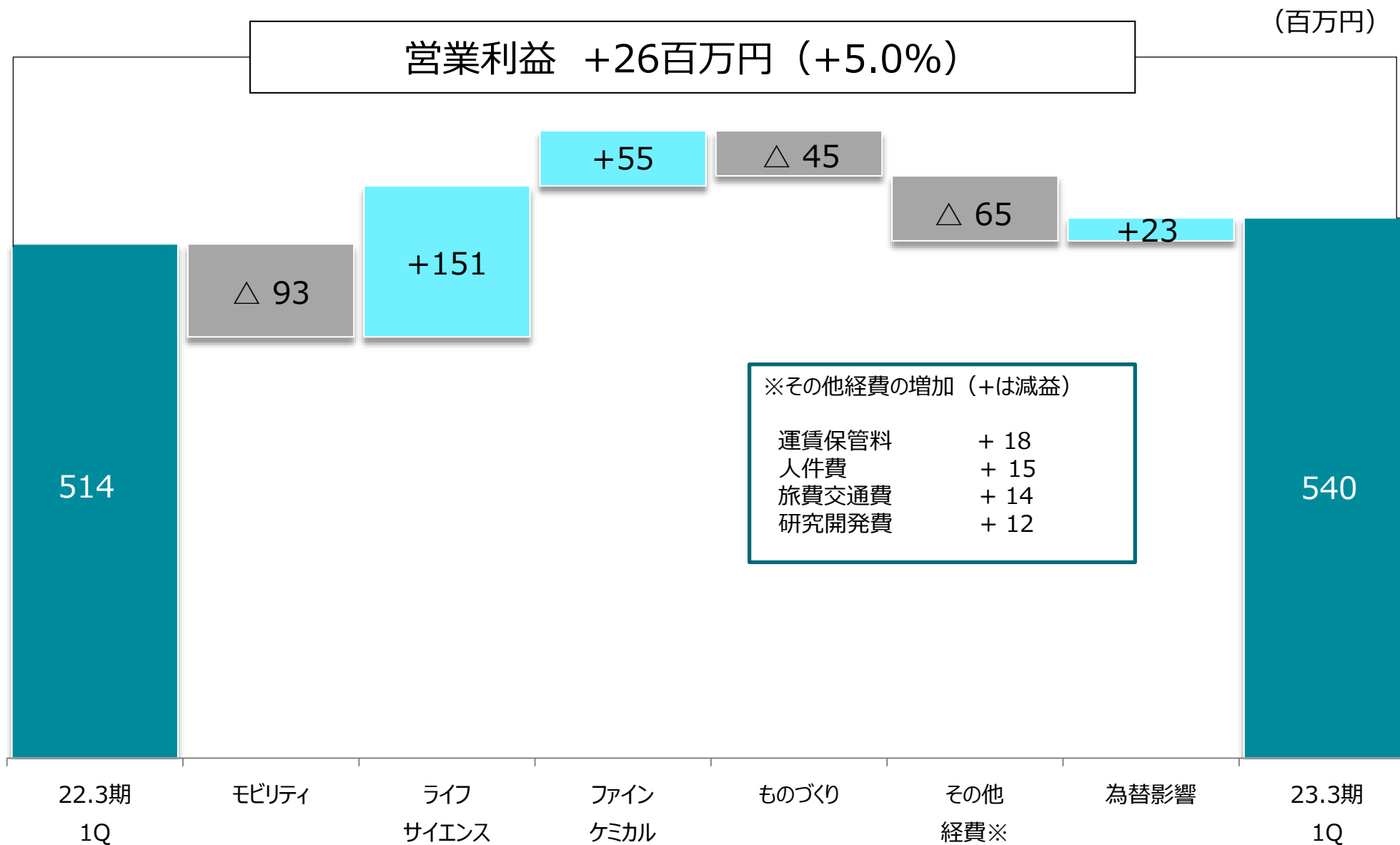


樹脂加工製品事業・営業利益 増減分析

(百万円)



ケミカル事業・営業利益 増減分析



2023年3月期第1四半期 所在地別売上高・営業利益

(億円)

	22.3期 1Q		23.3期 1Q		増減額	増減率
		構成比率		構成比率		
売上高 計	327	100.0%	340	100.0%	12	3.9%
┆ 日本	87	26.8%	80	23.5%	△ 7	△9.0%
┆ 北米	141	43.2%	145	42.7%	3	2.5%
┆ 中国	68	20.8%	78	23.0%	10	14.8%
┆ アジア	29	9.1%	36	10.8%	7	24.0%
┆ その他	0	0.0%	0	0.0%	△0	△6.8%
営業利益 計	10	100.0%	3	100.0%	△ 6	△66.0%
┆ 日本	3	32.6%	△ 1	△43.4%	△ 4	-
┆ 北米	0	0.4%	△ 6	△187.0%	△ 6	-
┆ 中国	6	66.0%	8	233.9%	1	20.6%
┆ アジア	0	6.6%	3	91.8%	2	370.9%
┆ その他	0	2.0%	0	17.8%	0	200.7%
┆ 調整額	△0	△7.6%	△0	△13.1%	0	-

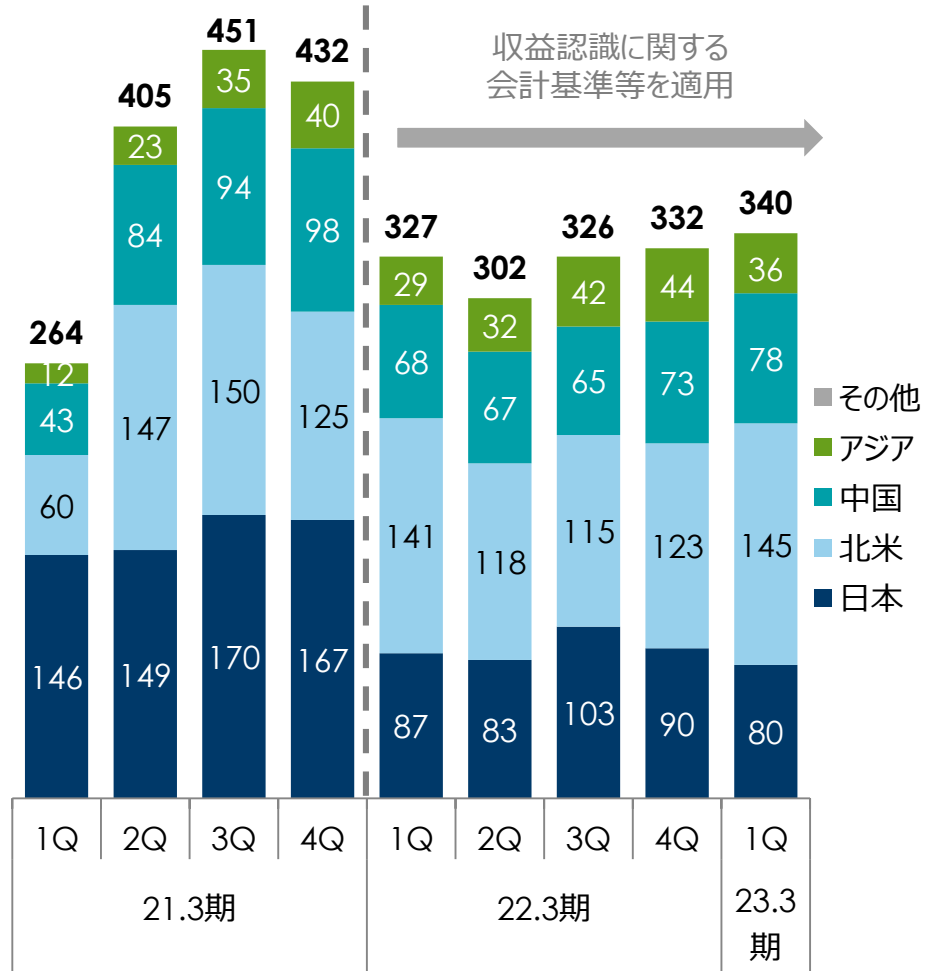
所在地別・四半期推移

日本：生産体質の改善、コスト削減に注力も、減産による固定費が重く苦戦

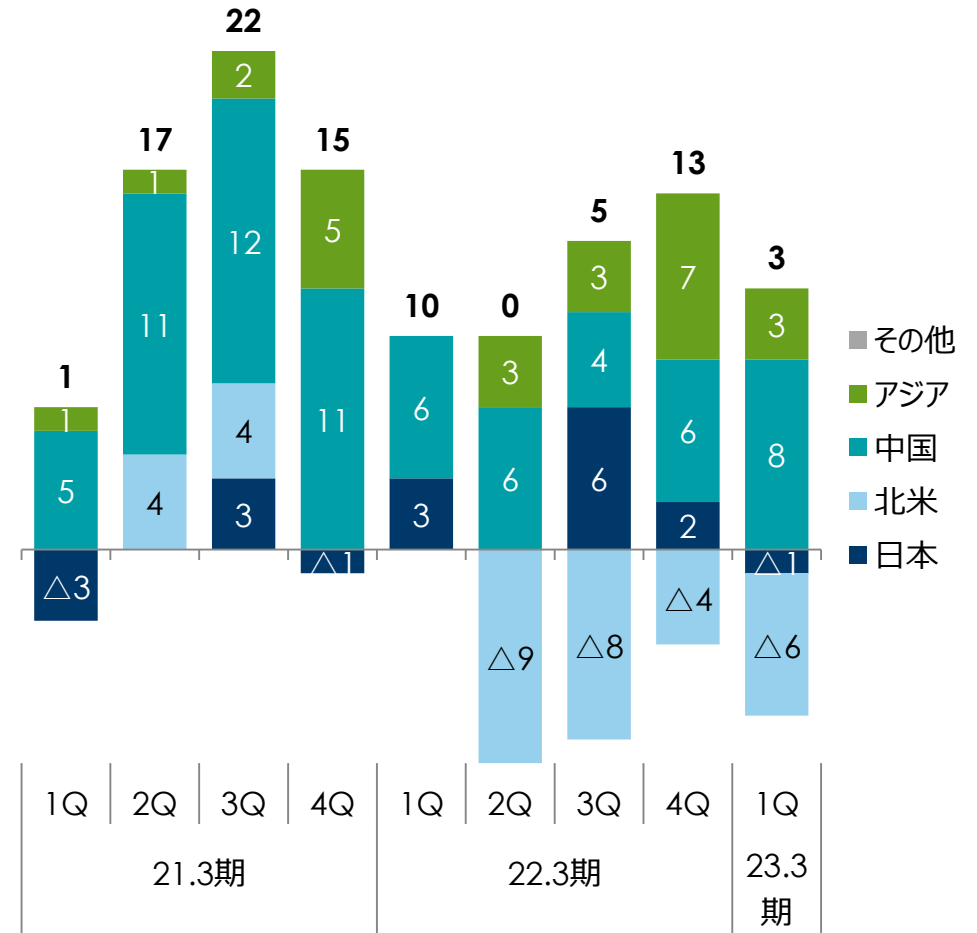
北米：半導体不足による減産影響で、生産調整と要員確保のための労務費負担増により収益悪化

中国：生産台数は計画通りに推移し、前年同期比で増益

所在地別・四半期売上高（億円）



所在地別・四半期営業利益（億円）



2023年3月期第1四半期 貸借対照表（概略）

固定資産は、設備の更新等により有形固定資産が増加
 流動負債は、主要顧客の減産影響等により、短期借入金が増加
 自己資本比率は51.0%、引き続き、安定した財務基盤を維持

（億円）

	22.3期末	23.3期 1Q末	差額		22.3期末	23.3期 1Q末	差額
流動資産	770	782	12	流動負債	559	582	23
（現預金）	183	191	7	（買入債務）	246	244	△2
（売上債権）	347	353	5	（短期借入金）	225	257	32
（在庫）	185	183	△1	固定負債	90	92	1
固定資産	600	620	19	（長期借入金）	35	41	6
（有形固定資産）	446	474	28	負債合計	650	675	24
（投資有価証券）	118	113	△5				
				純資産合計	720	727	7
資産合計	1,371	1,402	31	負債純資産合計	1,371	1,402	31
				借入金	260	298	38
				自己資本比率	51.6%	51.0%	△0.6pt



2. 2023年3月期 業績予想の修正

2023年3月期第2四半期 業績予想の修正

売上高 : 上海ロックダウンおよび半導体不足の影響により、樹脂加工製品事業が前回予想比で減収
 営業利益 : ケミカル事業は好調を継続する見通しも、樹脂加工製品事業は顧客の生産調整により減益

(億円)

	22.3期2Q 実績	23.3期2Q 前回予想 (22/5/13公表)	23.3期2Q 修正予想	前回予想 との増減	増減率
売上高	629	710	670	△ 40	△5.6%
営業利益	9	25	7	△ 17	△70.0%
経常利益	11	25	7	△ 17	△70.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	24	13	4	△ 9	△70.2%
EPS (円)	146.01円	85.53円	25.47円	△ 60.06	△70.2%
為替 (USD)	109.8円	109.0円	125.0円	16.0	14.7%
(中国元)	16.7円	16.6円	18.4円	1.8	10.8%

2023年3月期通期 業績予想の修正

売上高 : 台数予測は、上海ロックダウン解消により、上半期に対し下半期で回復する見通し
 前回予想に対しては、上海ロックダウンおよび半導体不足が影響し、通期で減収

営業利益 : 前期比では増益。前回予想比では、ケミカル事業は堅調に推移するも、樹脂加工製品事業で
 上半期の顧客生産調整の影響が大きく減益

(億円)

	22.3期 実績	23.3期 前回予想 (22/5/13公表)	23.3期 修正予想	前回予想 との増減	増減率
売上高	1,288	1,530	1,410	△ 120	△7.8%
営業利益	28	90	30	△ 60	△66.7%
経常利益	29	90	30	△ 60	△66.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	42	50	16	△ 33	△67.6%
EPS (円)	258.92円	314.47円	101.89円	△ 212.58	△67.6%
為替 (USDドル)	112.4円	109.0円	125.0円	16.0	14.7%
(中国元)	17.0円	16.6円	18.4円	1.8	10.8%

2023年3月期通期 セグメント別業績予想の修正

樹脂加工製品事業は、顧客の生産調整により前回予想比で減収減益も、前期比では増収増益
ケミカル事業は、化学品の需要好調が継続し、売上高と営業利益ともに堅調に推移する見通し

(億円)

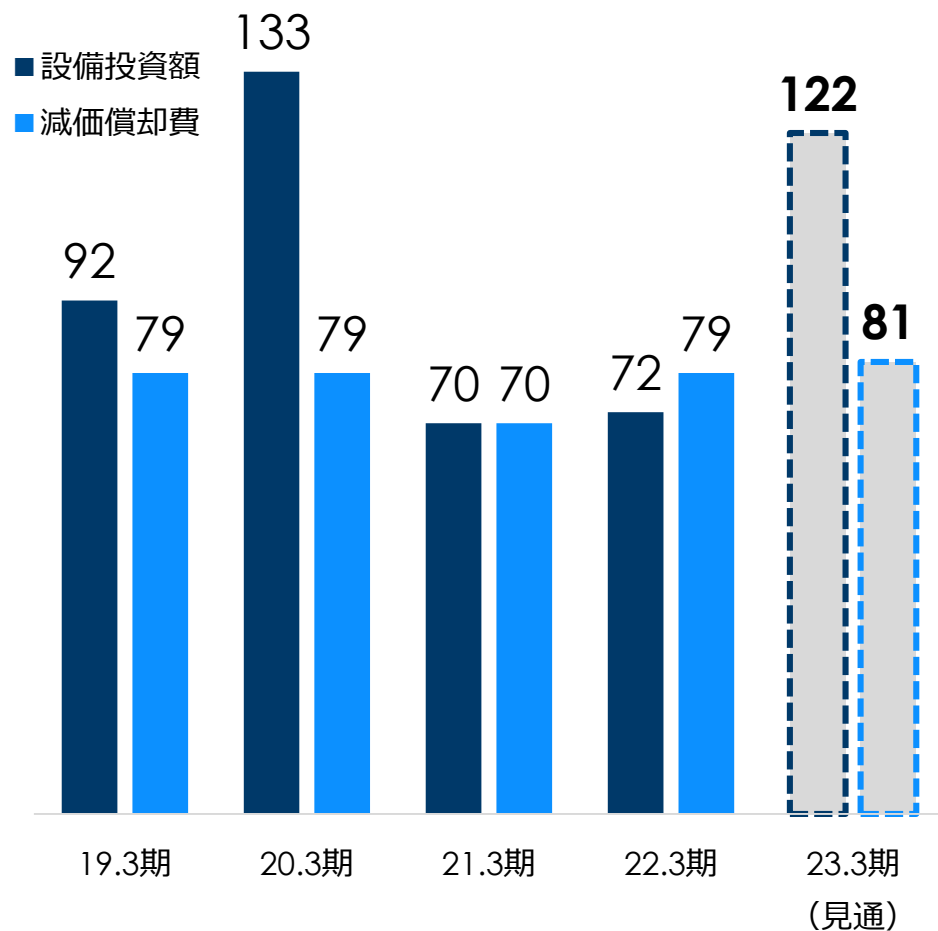
	22.3期 実績	23.3期 前回予想 (22/5/13公表)	23.3期		
			修正予想	前回予想 との増減	増減率
売上高	1,288	1,530	1,410	△ 120	△7.8%
樹脂加工製品事業	1,017	1,250	1,110	△ 140	△11.2%
ケミカル事業	270	280	300	20	7.1%
営業利益	28	90	30	△ 60	△66.7%
樹脂加工製品事業	12	73	13	△ 59	△81.6%
ケミカル事業	18	19	19	-	-

設備投資額・減価償却費および研究開発費

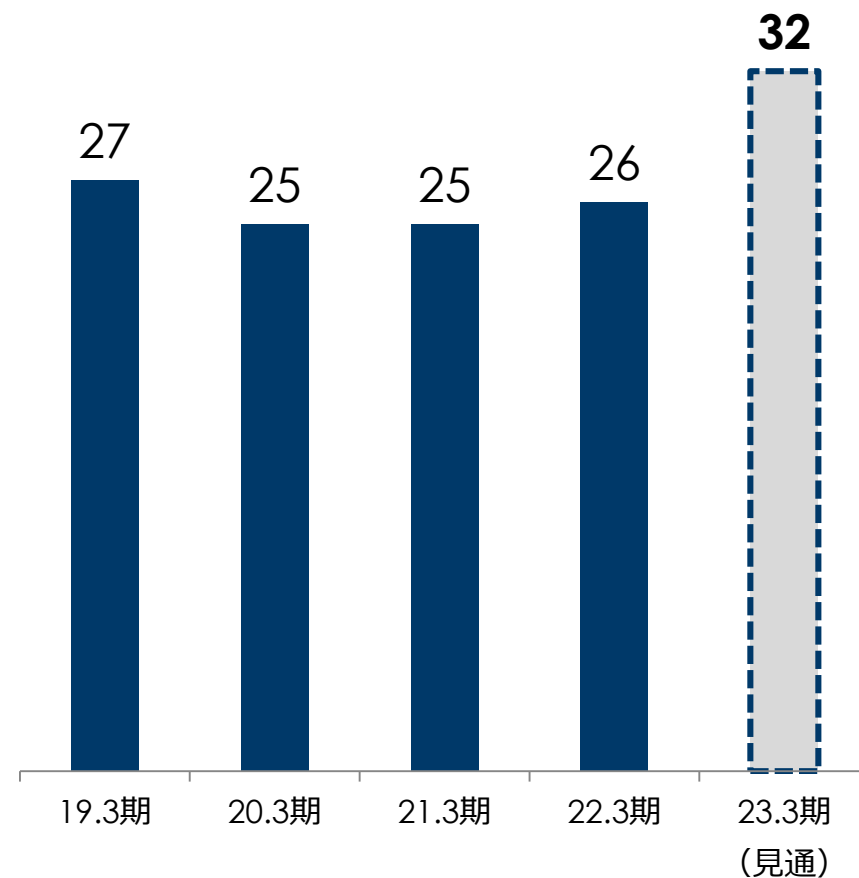
前回予想から変更なし

設備投資：新機種用金型、環境投資（太陽光パネル、成形機電動化など）

設備投資額・減価償却費(億円)

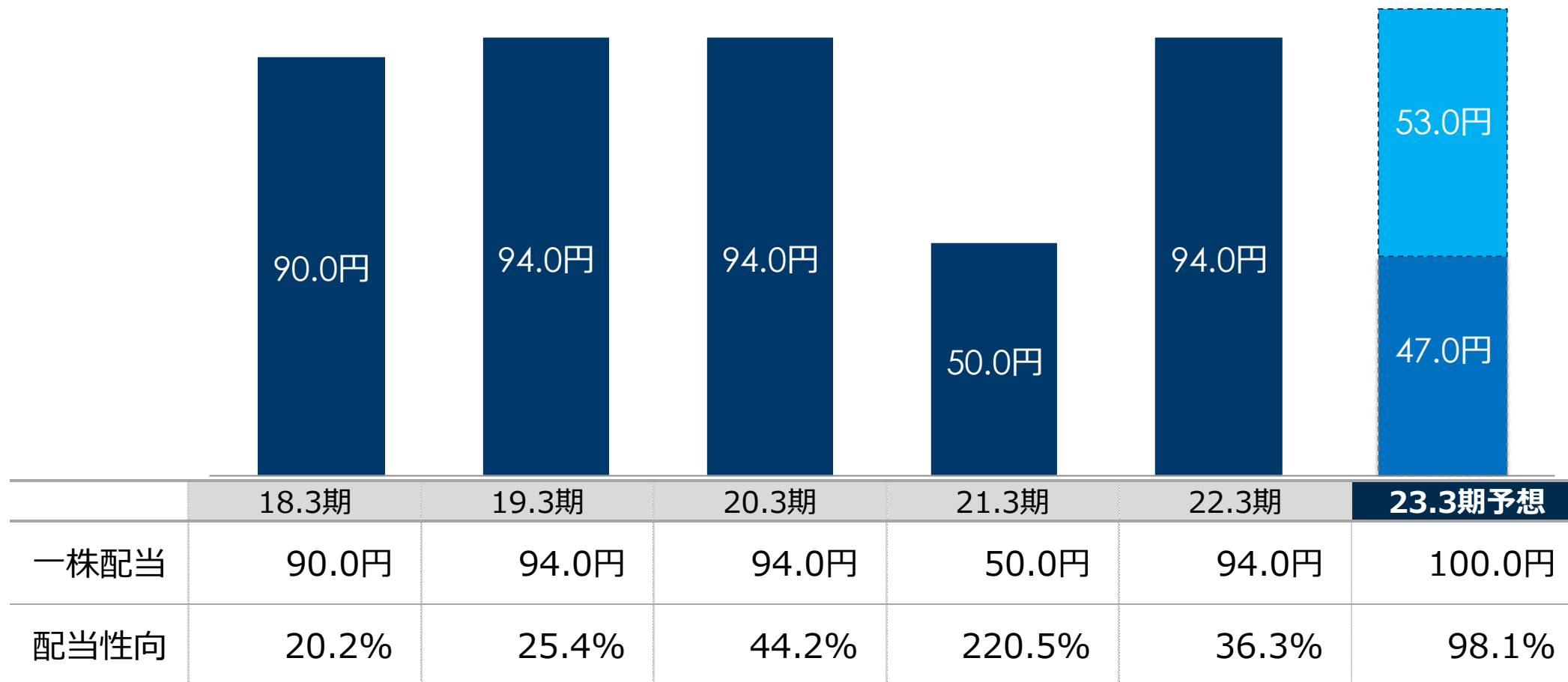


研究開発費(億円)



2023年3月期 株主還元

年間配当100円から変更なし
10億円（60万株）を上限に、自社株買いを実施中（2022年2月～2023年2月）



【ご注意事項】

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。